

宮北小学校 学校だより 11月 ふじさと

みとめあう やるきのある きたえあう たのしい学校



種をまく ～ マレーシアの小学生との交流を通して ～

学校長 道本 美月

10月31日にマレーシア、クアラルンプールのエスケ・ブキットダランサラ小学校の児童18人と引率7人が本校を訪問し、児童との交流をしました。



これは国際人材の育成を目的に、県がすすめる訪日教育の一環で行われたものです。このような機会を通じて、子供たちの国際感覚や人権意識を高めていけたらと思い、申し出を受けました。来年以降も継続できたらと、子供たちの様子を見て感じました。

教育とは、なかなか成果がすぐに見えませんが、若くて心が柔軟なうちに、様々な種をたくさんまくことで、いつかその芽が伸び、それぞれに花開くことを信じています。

私は、歓迎のあいさつで、“Harvest follows seedtime”「収穫は種を蒔いたあとにくる」という言葉を引用しました。今回の交流で、蒔かれた友情や国際感覚の種は、小さいかもしれませんが、子供たちが成長する過程で、他の経験と一緒に育ち、形はそれぞれ違って、社会で重要な役割を果たすようになることを願っています。

マレーシアの児童は、5・6年生でしたが、1年生から6年生の全学級に交流に行ってもらいました。どの学年でもそれぞれに工夫をして、おもてなしをしていていましたので、みんな喜んでくれていました。

改めて、「子供ってすごいな！」と思いました。

11月は学校開放月間です。子供たちの普段の様子を是非、みに来てください。

校門は、安全のためいつものように閉じていますので、インタフォンでお声かけください。

地震・津波・避難訓練を行いました

11月1日は緊急地震速報「ジェアラート」に合わせて、午前10時からまず、地震訓練を行いました。今回は、「シェイクアウト訓練」を徹底しました。シェイクアウトとは、揺れを感じたらすぐに身を守る訓練です。まず、自分の身を守り、けがをしない自助が大切です。けがをしたら、逃げるが出来なくなります。命を守るための初めの行動です。

(シェイクアウトの基本姿勢)



その後、津波を想定した訓練をしました。校舎の3階まで、ペア学年で避難しました。今回は津波が来るまでに時間がある想定でしたので、みんな落ち着いて避難するように指示しました。

しかし、状況によっては、「津波でんでんこ」の教訓を守って、とにかく高いところ高いところへバラバラに逃げるのが大切です。津波避難3原則「想定にとられない」「最善をつくせ」「率先避難者に

なれ」をしっかり身に付けてもらいたいです。179人の命が、どこにいても守られるように、ご家庭でも避難先や避難経路についてこの機会に話し合っておいてください。また、外務省、インドネシアTVの撮影も無事に終了しました。撮影についてご理解を頂きありがとうございました。



校長室「ほっとプレイス」通信 教育講演会へのおさそい

11月17日、「ふれあいの集い」の日、11時から保護者むけの教育講演会を実施します。今回は、和歌山市在住のイラスト作家 RUI(ルイ)先生をお迎えします。

先生は、高校生の時にじめに合い不登校になった経験があります。社会人になってからも、人間関係や仕事のことで悩み苦しんだ経験を持ちましたが、現在は、辛かった経験をもとにイラスト作家、講演等、前向きに活動を行っていらっしゃいます。先生自身の経験をもとにした絵本を3冊出版されています。

